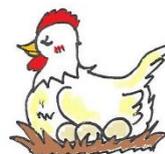




おおくす



季節を感じる心

校長 野田 恵美

1月23日の集会で子供たちに24節気の「大寒」と「立春」の話をしました。今年は1月20日の金曜が大寒だったのですが、ちょうどその頃は「10年に1度の寒波がやってきます」「寒さや雪の対策をしておいてください」などと、天気予報で盛んに言っていました。週が明けて、この集会の日の朝も冷え込みました。これは絶好の機会だと思い、集会の話のうちの1つに次のような内容を入れたのです。

「みなさんは大寒という言葉を知っていますか。大きい、寒いと書いて『だいかん』と読みます。この日は1年で一番寒い日なのです」と話しました。まさに子供たちは寒さを体感できた日でした。そして、「この大寒の次に来るのが立春です。春が立つと書いて立春。大きく寒いと思っていたら、10日ほどすると、春が立ち始めるのですね。日本には昔から季節を感じる言葉や季節を意識する言葉が数多くあります。季節を感じる心が豊かなのですね。みなさんもぜひ季節を楽しみ、その季節ならではの発見をしましょう。」



学習の中にも生活科や理科、国語などで「季節」を扱った単元があります。担任の先生もアンテナを高くして、「来週は冷え込むからあの単元にはうってつけだ」と考えていたと思います。それも相まって、この週は「冬さがし」をする子供たちの姿が随所で見られました。

それ以外の場面でも1つ、担任の先生から教えてもらって嬉しかったことがあります。ある学年の子供たちが「大寒」という言葉を集会で初めて知り、その意味を自分なりに再度調べてみたところ、①1年で一番寒い日、②自然の中では春の準備をする頃、という解説があったそうです。それを知り「自分たちも次の学年に向けて今のままではいけない、準備しなくちゃ」と考え、「準備スイッチを入れなくちゃ」と行動が少しずつ変わってきたそうです。調べた資料により、諸説あるとは思いますが、「大寒」の2つめを私は知らなかったもので、素敵な意味だと思いました。そしてその子に負けずに、自分でももう一度調べてみたところ、大寒の時期をさらに初候、次候、末候の3つに分け、今は末候の「鶏始乳（にわとり はじめて とやにつく）」とあって、鶏が寒さの中にも春を感じ取って卵を産み始める時期だということが分かりました。大寒の頃は醤油や味噌、酒を仕込むのによい時期とも言われていますので、②の「春の準備」という意味はその辺りの意味を含めたものなのだろうと思いました。その時期を終えるといよいよ「立春」。まだまだ風は冷たいですが、「春」というだけで少し心が温かくなります

3学期は、私たち教職員も、今年度の教育活動を振り返り、成果や課題を洗い出す時期です。今年度は、昨年度に引き続き制限された活動もありましたが、多くの活動は工夫をしながら実行できました。実行できた分の成果も感じています。来年度は、新型コロナウイルス感染症の扱いも変わるとの報道もされ始めました。世の中の変容に合わせ、子供たちが安心して教育活動に取り組めるように考え、工夫していきたいと思っています。子供たちに負けずに「春の準備」を始めます。

● 今年も干支が届きました ～かわいい卯の親子 地域の方から

昨年のおおくす1月号で地域の方からの贈り物、として木材を糸鋸で切り抜いた干支の置物を紹介させていただきました。今年も干支の置物を数セットいただきました。職員室前や来客玄関に飾らせていただきました。親子の並ぶ位置が毎日少しずつ変わっています。だれかが場所を変えて楽しんでいるのでしょうか。渋川っ子はこうした置物を大切に扱い、いろいろな掲示物をよく読んでくれます。

学校にお寄りの際は、かわいい親子のウサギに会ってってください。



【 なわとび週間・ひだまり読書週間 】

3学期が始まり、寒さが一層厳しくなってきました。そんな中、体育委員会が中心となり、1月10日から20日まで「なわとび週間」を行いました。2限後の長い休み時間になると軽快な音楽が流れ、なわとびチャレンジが始まります。割り当てられた場所で、各自の目標を立てて、短なわとびの技に挑戦します。学年別で大なわとびにも挑戦します。得意な子が跳ぶタイミングを教えてあげたり、みんなで跳べたことを喜んだり、と冷たい風に負けない心温まる場面が数多く見られました。

また、1月23日からは、ひだまり読書週間が始まりました。朝の時間を読書タイムとし、優しいBGMが流れる中、それぞれお気に入りの本を読みます。

元気に体を動かしたり、集中して読書をしたりと、きちんと切り替えのできる渋川っ子です。



【 健闘を讃えます ～市民体育大会サッカー部・ミニバスケットボール部 】

市民体育大会として1月15日(日)、22日(日)にはサッカーの大会が南グラウンドで、1月28日(土)にはミニバスケットボールの大会が市総合体育館で開かれました。サッカーAチームは果敢にシュートを打ち、常に攻めていましたが、リーグ戦を突破することができませんでした。Bチームはトーナメントで3位決定戦に進み、勝利を得ることができました。ミニバスケットは、相手の激しいタックルにも負けず、チーム一丸となって頑張りましたが、惜しくも初戦突破はなりませんでした。部活動で鍛えた心身は今後、様々な場面に生かされると思います。おうちの方からも多くの声援をいただき、ありがとうございました。



【 4年生 総合的な学習 ～棒の手・地域の民俗無形文化財に学ぶ】

1月25日(木)に、4年生が直師^{じきしむ}夢想東軍流^{そうどうぐんりゅう} 棒の手保存会の方を講師に招き、棒の手の体験を行いました。体育館で講義を聴いたり、実際に自分たちでも体験をしたりしました。講師の方から、分かりやすく棒の手の歴史や衣装の説明をしていただき、楽しく学ぶことができました。子供たちもお話をしっかりと聞き、一生懸命にメモをとっていました。途中で手作りのわらじを用意していただき、全員で実際にはいてみました。この棒の手は、愛知県の無形民俗文化財にも指定されています。地域の伝統芸能としてこれからも大切にしていきたいです。



保存会の方の勇ましい模範演技(上)
わらじ体験(右)

